

### 【事業背景】

- ① 本県の人口10万対准看護師数は366.4人（平成28年12月末現在）であり、全国平均254.6人より高い。在宅医療に携わる診療所、施設等においても同様の状況。
- ② 今後進展する地域包括ケアや多職種連携に係る知識があらゆる医療職に求められている。
- ③ 診療所や施設に勤務する准看護師は、地域住民にとって身近な医療職であり、貴重な存在である。しかし、准看護師が主に勤務する診療所は看護職員の勤務人数が少なく、研修参加の機会が確保しにくい。
- ④ 准看護師は県内各地域に密着しながら勤務するケースが多いが、各種研修は看護職員数が相対的に多い県北・県中地域で行われることが多いため、研修会場へアクセスしにくい。



### 【事業概要】

クリニック及び施設等で働く准看護師を対象に、県内6か所（県北、県中、県南、会津、相双、いわき）で地域包括ケアや他職種連携に関する研修会を実施する。

### 【実施主体】

福島県（委託先：公益社団法人福島県看護協会）

### 【事業イメージ】

#### 研修概要（案）

- ・地域包括ケア、チーム医療が必要となった背景
- ・上記におけるクリニック及び診療所に勤務する准看護師の役割
- ・患者等に優しく安全なケアとは（感染予防を例に取ったグループワーク）

受講

#### 事業効果

- ・地域医療の質の向上。
- ・地域の准看護師における資質向上及び職務に臨む自覚の醸成
- ・准看護師の離職防止・定着を推進。